

まちづくり基金を設置	2
給食センターを建設	7
一般質問 10人が町の考えを聞く	10
追跡 あの質問 その後は	15

はしご車大好き。
僕も出動!!
(消防出初式)

いながわ
議会だより
第142号
平成24年(2012年)2月3日

まちづくり基金を設置

第359回 12月定例会

第359回定例会を12月9日から12月22日までの14日間開会し、23年度各会計補正予算5件、条例制定2件、条例改正3件、人事案件1件、指定管理者の指定5件を審議し、いずれも原案どおり同意・可決した。
また、22年度一般会計、6特別会計の各会計決算を認定したほか、意見書1件を可決した。

一般会計補正予算

国の子ども手当見直しに伴い、国・県の負担金分約1億円減額したほか、火葬場の駐車場増設に3千万円、人生80年いきいき住宅助成事業に155万円の増額を行った。
一方、給食センター整備のため予算化していた約2千万円は、東日本大震災の影響で国の補助が見込めなくなったことから、一旦減額し、新年度から新たにスタートするため、計画策定委託料約136万円を計上した。
また、4月8日に開催される「いながわ桜まつり」に76万円を支援する。

人事案件に同意

公平委員会委員
任期満了に伴う公平委員会委員の選任に同意。
谷下圭右さん

条例制定

都市計画事業基金の設置、管理及び処分に関する条例
都市計画事業を円滑かつ計画的に推進するため、都市計画事業整備経費に充てるための資金を積み立てる基金を設置する。

討論

都市計画税
は目的税で受益と負担の関係が不明確。単年度収支で行うのが原則で、剰余金のための基金設置は不適切。

条例の一部改正

まちづくり基金の設置、管理及び処分に関する条例
住みよい豊かなまちづくりを推進するための経費に充てるため、土地開発基金、環境整備基金及びふるおいとやすらぎの創造基金を廃止し、まちづくり基金を設置する。

農業共済条例の一部改正

家畜伝染病予防法に規定する手当等が支給される家畜を、家畜共済金の支払い対象から除外する。

特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

スポーツ基本法の施行に伴い、従来の体育指導委員をスポーツ推進委員へと名称変更する。

公の施設の指定管理者を指定

- ① 駅前第一、第2自転車駐車場及び日生中央駅前交通広場駐車場Ⅱ猪名川町商工会
- ② 猪名川霊照苑Ⅱ日東カストリアル・サービース株神戸支店
- ③ 猪名川町社会福祉会館Ⅱ社団法人猪名川町シルバー人材センター
- ④ 福祉センター及び障害者福祉センターⅡ社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会
- ⑤ スポーツセンター、うぐいす池公園テニスコート及び登り尾公園テニスコートⅡ公益財団法人尼崎市スポーツ振興事業団



「2012いながわ桜まつり」のポスター

意見書を県へ提出

兵庫県立高等学校の通学区域見直しに関する意見書 (全会一致で可決)

要旨

兵庫県教育委員会は、平成21年7月に高等学校通学区域検討委員会を設置し、検討が進められ、平成23年11月には、県内の高校の通学区域を16学区から5学区に統合するとして最終の報告書が提出されました。
ただ、半世紀近く慣れ親しんだ学区の変更には反発の声も強く、生徒や保護者の理解を得ることが重要であります。
地域の課題解決を図り、県民が願う通学区域になるよう、さらなる意見集約に努められ、生徒、保護者などに対し学区変更に対する十分な説明をし、拙速に決定せず慎重な検討をされますよう、ここに強く要望いたします。

会計別の補正額

会計	補正額	補正後の総額
一般会計	1億2043万円	94億5651万円
国民健康保険	2億1581万円	30億1316万円
介護保険	1170万円	16億6284万円
後期高齢	3448万円	4億9728万円
農業共済	93万円	3867万円

討論 平成22年度決算

一般会計

反対 火葬場が整備されたが、使い勝手が悪い。また、特定の地域だけに行く「地域に学ぶ体験学習支援事業」は、逆差別を引き起こす可能性もあり、この事業はなくすべき。

賛成 自主財源が厳しい中、堅実な財政支出による健全財政の運営が図られた。また、待機児童解消に向けた認定こども園開設補助など、十分評価できる。

国民健康保険特別会計

反対 ルール分以上に一般会計から繰り入れたことは評価するが、それでも加入者負担増となった。国の制度そのものに問題があり、町・加入者が負担増にならないよう強く国へ声を上げるべき。

賛成 一般会計から繰り入れ、保険料率の引き上げを抑制した。また、がん検診などの受診率向上により、県の特別調整交付金の増額交付を受け、加えて、業務の効率化や経費の削減に努力された。

後期高齢者医療保険特別会計

反対 町内でもこの制度を廃止して欲しいとの請願も出された。制度そのものに反対。

賛成 保険料の徴収事務、被保険者の資格情報・給付費の受付など、業務の効率化や経費の削減に努力され、適正に進められている。

(いずれも賛成12・反対2・欠席1で認定)

第358回 11月臨時会

第358回臨時会を11月28日に開会し、条例改正1件を審議し、原案どおり可決した。

職員の給与に関する条例等の一部改正

人事院勧告に準じ、民間の給与水準を上回っている50歳台を中心に、職員の給料表を平均0.23%引き下げる。

討論

反対

① 公務員の給与引き下げが民間の給与引き下げの理由に使われてきた。
② 公務員も定数が減らされてきた。
③ 不況による民間での給与引き下げは、国が不況を抜け出す政策を取っていないことにある。

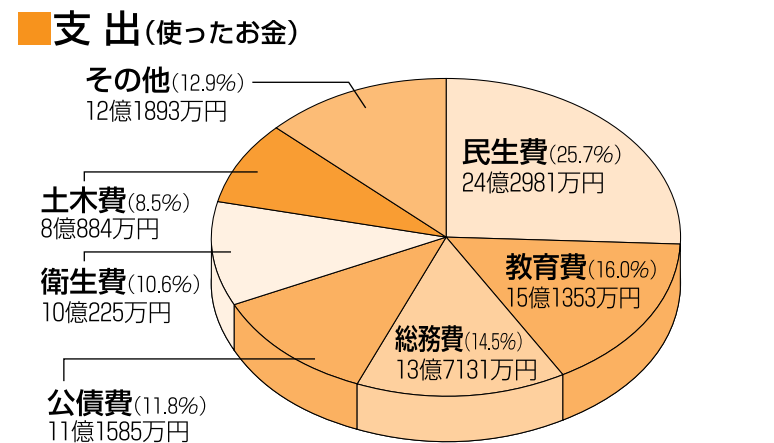
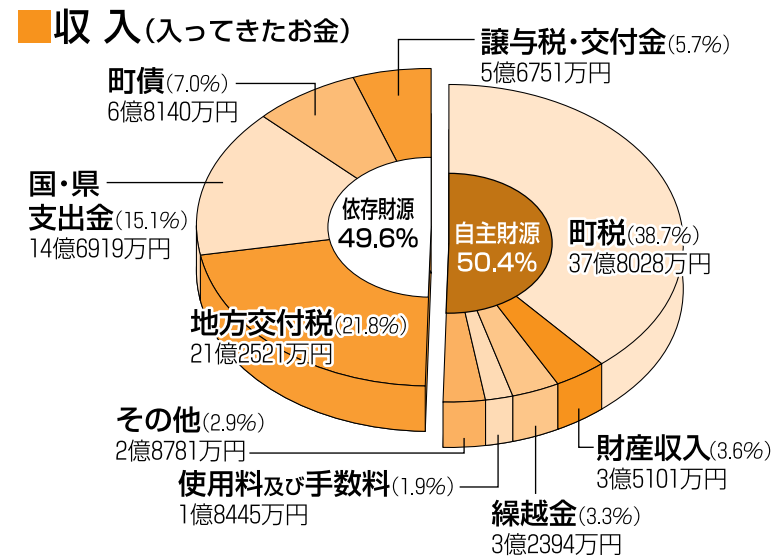
(賛成13・反対2・欠席1で可決)

長びく景気低迷が大きく影響

22年度 各会計別決算状況

会計区分	収入	支出	収支差引残額
一般会計	97億7080万円	94億6052万円	3億1028万円
特別会計			
国民健康保険	27億5987万円	25億2307万円	2億3680万円
介護保険	15億6729万円	15億5715万円	1014万円
後期高齢	4億5362万円	4億4330万円	1032万円
老人保健	76万円	76万円	0
農業共済	3247万円	1838万円	1409万円
奨学金	441万円	329万円	112万円
合計	145億8922万円	140億647万円	5億2455万円

一般会計(収入・支出)の内訳



依然 厳しい財政状況

平成22年度各会計(上下水道事業会計を除く)決算は、各常任委員会で延べ4日間にわたり審査し、認定した。

主な質疑

総務文教委常任委員会

財政

◎ 不納欠損が多額となっているが今後の対応は。
 A 破産や競売、居所不明などにより、徴収が非常に困難な事態になった場合に、地方税法に基づき処分をしているが、今後も早期の徴収について努力していく。

総務

◎ 静思館の利用状況は。また、屋根の修繕など、多額の費用が必要だが、維持管理についての考え方は。
 A 利用率は、増加傾向にあり、年間の使用人数は、約4千人である。また、静思館運営審議会において、運営方法や維持管理についての検討もされ、早急な修繕をしなければならぬとの意見もある。来年度には予算を計上し、修繕をしていく。

まちづくり

◎ 町道鎌倉1号線の改良工事は、大雨が降った際に、道路に雨水があふれているが、工事としては問題ないのか。
 A 平成20年度から3年間にわたり工事を実施してきたが、道路改良ではなく、現道拡幅であることから、雨の降る時期には相当な水が流れ出ている状況も確認している。

一般会計

たい。専門の業者の意見を十分に聞きながら考えていきたい。

企画

◎ ふれあいバスについて、夏休み中子どもの料金を無料にしたが、効果はあったのか。また、今後の利用促進の考えは。
 A 子どもの料金を夏休みに限り無料化したのが、結果的に利用者は少なかった。また、今後は全体のルート見直しを検討しており、地域の意見や昨年実施したアンケートなどの意見も集約し、利用促進を図っていきたい。

消防

◎ 救急アドバイザーの活動内容と、その体制は。また、活動についての反省点は。
 A 女性2名の救急アドバイザーが、平成22年度は43回の講習会などを実施し、受講者は760名であった。主な活動内容

福祉

◎ 人生80年いきいき住宅助成事業補助の件数は。
 A 21年度は30件で557万円、22年度は25件で624万円。件数では5件減少しているが、金額は67万円増加している。

農政

◎ あじさいまつりの集

は、救命講習、出前講座、子育て支援センターへの講座などである。反省点は、アドバイザーとの日程調整が難しかった。

教育

◎ 緊急雇用創出事業における文化財調査員の雇用形態は。
 A 銀山地域の詳細分布調査の最終年として報告書の刊行を行うため、文化財調査補助員として、日給制で通年延べ5名の雇用となり、実績額は約346万円となった。(全会一致で認定)

暮らし

◎ クリーンセンターの解体処分は、どのように進めていくのか。
 A 現在、財産処分申請の準備を進めており、解体についてはできるだけ

生活建設常任委員会

客増につながる取り組みは。また、鹿による食害があったが、復元に向けた計画は。
 A 柏原生産森林組合が主催の事業であり、今後の方向性などはまだ聞いていないが、引き続き地域に根ざした、たくさんの方の集客があるまつりとなるよう、町としても支援していきたい。鹿の食害に対しては、あじさいの補植を3年間で3千本を

地域

◎ 木津総合会館運営審議会と人権推進審議会を統合する考えは。
 A 人権推進審議会は、人権に関する総合的な施策を推進するため必要な事項を調査審議し、町長の諮問に応じる機関で、木津総合会館運営審議会は、総合会館の運営や会館事業の総合的な推進を協議する機関であり、現時点では設置目的を異にしている。今後、木津総合会館の耐震化なども含めた総合会館のあるべき姿を協議いただき、一定の方向が出た時点で、両審議会の統合についても関係者の意見を聞きながら検討していきたい。

「不納欠損」

何らかの理由で納付されず、今後も納付の見込みがないため徴収できないと認定されたもの。

主な質疑

特別会計

総務文教常任委員会

奨学金

Q 本町奨学金制度の今後の考え方は。また、順調に返済はされているのか。

A 県の奨学金活用を促しているが、町の奨学金制度は残しておくべきと考えている。また、償還はほぼ計画どおり順調に進みつつあり、今後も償還催促については積極的に取り組みたい。

(全会一致で可決)

生活建設常任委員会

国民健康保険

Q 減免世帯の推移は。また、国民健康保険税の税率を上げなかった場合決算ではどうなっていたか。

A 減免世帯数は、22年度214世帯で、所得の減少で59世帯、リストラによる軽減で108名の減免を行っている。税率を上げなかった場合は、一世帯当たりの賦課額を13%増で見込んでいたが、景気低迷に加え、リストラ軽減の実施によって、当初9900万円の見込みが7500万円となっており、2400万円余りの調定減になっていた。

Q 県下における医療費の順位は。

A 医療費は県下で39位、保険料は県下で2位であり、保険料が高く、医療費が低い状況である。歳出である保険給付費の一般被保険者分は15億3千万円、歳入である保険税の一般被保険者分の収入額は4億8千万円で、約10億円の差があるが、国、県からの補助金や一般会計からの繰入金などで賄っている。

後期高齢者医療保険

Q 後期高齢者医療制度の見直し状況は。

A 制度改正は25年3月と聞いていたが、まだ、国において審議されていないので、町としては現状の制度を維持していく。(介護保険・老人保健・農業共済特別会計についても審査。国民健康保険・後期高齢者医療保険特別会計は賛成6・反対1で認定。その他はいずれも全会一致で認定)

お知らせ

23年度 定例会の日程

* 3月定例会

- 24年2月24日 (第1日)
- 3月2日 (第2日)
- 3月5日 (第3日)
- 3月26日 (第4日)

※議事の都合により変更することがあります。

あなたも議会・委員会を傍聴しませんか

町議会では、身近な問題などを議論しています。

まちづくりを一緒に考えてみませんか。

傍聴の手続きは簡単で、当日、議会事務局で傍聴受付簿に住所・氏名を記入していただくだけで傍聴できます。

(議場20名、委員会室10名まで)

新会派結成

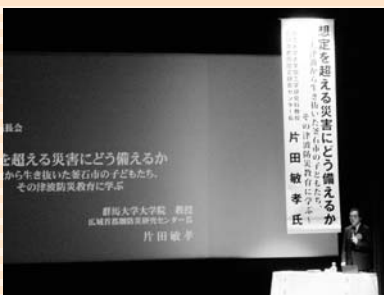
11月3日付で、会派が結成されました。

《会派名》

アクティブいながわ

- 代表 福井 澄栄
安井 和広
下神 實千代
山田 京子

議員研究会に参加



11月18日、香美町香住区中央公民館で、県町議会議長会主催の「議員研究会」が開催され、全議員が参加しました。

群馬大学大学院工学研究科教授の片田敏孝さんから「想定を超える災害にどう備えるか」をテーマに講義を受けました。

給食センターをリース方式で早期に建設

総務文教



建て替えが急がれる学校給食センター

12月13日、委員会を開会。付託6議案を審査。

主な質疑は次のとおり。

一般会計補正予算

Q 消防ポンプ自動車の購入費が減額されているが、次年度の予定は。

A 震災の影響で希望する車種が製造できない状況が判明。次年度には車両を更新する予定。

Q 学校給食センターの整備はどのように進めるのか。また、当初の計画を変更した理由は。

A プロポーザル（企画提案）による民間活用を進める。当初、国庫補助での実施予定であったが、震災の影響により財源が不透明となったほか、老朽化した施設を早急に整備する必要があるため。

Q 同センターの整備でリース方式を選択する理由は何か。また、これに

よほどの程度早く建設できるのか。

A 実施設計や基本計画など一連で業者発注でき、項目ごとの入札が不要となり時間短縮が図れる。震災の影響を受けた1年の遅延が取り戻せるものとする。

Q つつじが丘留守家庭児童育成室の増設はどの場所を計画しているのか。

A 駐車場スペースにプレハブ教室を新設する。まちづくり基金の設置、管理及び処分に関する条例の制定

Q 各種基金条例の統廃合により基金がまとめられるが、管理面で特別な対策は講じるのか。

A 管理の方法は従来と変わらない。

都市計画事業基金の設置、管理及び処分に関する条例の制定

Q 剰余金を繰越金とした場合の問題点は。また、剰余金が生じること自体、同事業が進んでいないということではないのか。

A 他の繰越金と区別できなくなり、目的税としての使途が不明確となる。同事業として原広根線などの道路整備費約2億8千万円が計画されている。

Q 都市計画税は以前から受益者負担に対する要検討の声もあるが。

A 同税は、都市計画事業に対する目的税として市街化区域内の公園、下水道整備などに充てているが、不足する財源は一般財源で補っている。

特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

Q 体育指導委員からスポーツ推進委員に名称変更されるが、指導内容は

変わらないのか。

A スポーツ推進事業の実施にかかる連絡調整並びに住民に対するスポーツの指導及び助言に変更される。

スポーツ施設の指定管理者の指定
業務内容はどのようなものか。

A 施設の清掃や窓口対応など施設の一括管理と施設の有効活用や健康づくりの推進など、多岐にわたる管理・運営である。（非常勤職員等の公務災害補償条例の一部改正についても審査。都市計画事業基金の設置条例については賛成6・反対1で可決。その他はいずれも全会一致で可決）

先進地視察レポート

総務文教常任委員会



電気クッキングケトル

各種煮込み料理や炒め物などマルチにこなせる電気万能調理釜(手前2台)

最新の連続式電気フライヤー



東郷町は、人口増の影響から保育園への給食を検討していたが、給食センター増設費用の財源確保が困難なことから、リース方式による建設を決定し、従前からの業務委託をベースに保育園対応分(1500食)を確保している。リース契約は、利息を払うため割高感があるが、起債枠がないといった事情からやむを得

ない判断であったとのこと。給食センターの建設については本町でも財源確保の課題を抱えており、本視察は、今後執行者が示す建設計画などへの対応に参考となった。

リース方式による給食センター建設

11月30日 愛知県東郷町

スマホがお守り代わりの「元気バス」

12月1日 三重県玉城町

ICT(情報コミュニケーション技術)を活用した安心・元気なまちづくり事業を進める玉城町は、かねてから懸案であった「巡回型福祉バス」を平成22年に廃止し、東大の研究チームと連携し独自のオンデマンドバス(予約型バス巡回)システムを開発した。これは、基本的にスマートフォンや町内に設置した専用タッチパネルを端末機とする「元気バス(乗り合いバス)」の予約システムであるが、単に高齢者の交通手段を確保するためだけのものではなく、利用履歴をもとに高齢者の安否確認や健康づくりにも役立っているとのこと。本町の「ふれあいバス」も見直しの時期を迎えており、本視察は今後の地域公共交通の確保策を検討するうえで参考となった。



予約・見守り用スマートフォン



コンパクトな車載機

車載機に送られてくる情報を運転手が確認する



小回りの利く11人乗りワゴン車
(乗客は最大9人)



オペレーションルーム

パソコンに不慣れな利用者の代わりにオペレータが電話を受け希望を入力する

指定管理制度で効率的な施設管理

12月14日、委員会を開会。付託10議案を審査。

主な質疑は次のとおり

一般会計補正予算

補正予算についての基本的な考え方は、

A 補正予算は、緊急時への対応のほか、毎年2月の予算案編成作業から新年度開始までの間など社会経済情勢の変化への対応や緊要な場合に限り行っている。

Q 柏原農村公園では、これまで何度か災害が発生しているが、対応は十分できているか。

A 近年の異常気象により、突発的で局地的な集中豪雨が降ることがあり設計上予想できない面もある。これまでの災害復旧工事に加え、今回の工

事で下部の法面はおおむね補強できる。

Q 新たに開催される、「いながわ桜まつり」の将来的な位置付けは。

A 「いながわ桜まつり」は、4月8日に第1回目の開催となる。今後においても桜の咲く時期に開催していく、各地域の桜に関するイベントや道の駅、文化協会の事業などとも連携を図り、本町の春の一大イベントとなるよう取り組んでいく。

Q 国民健康保険特別会計補正予算

A 退職被保険者等療養給付費が大きく伸びているが、今後の見通しは。退職被保険者の加入が12%増加しており、今後増加が予想される。

(介護保険・後期高齢者医療保険・農業共済特別会計補正予算についても審査。いずれも全会一致で可決)

Q 自転車等駐車場及び駐車場の指定管理者の指定

A 施設管理が中心の施設では3年、人的サービスや事業企画が中心の施設では5年としている。

Q 指定管理の事業者の取り組みについての検証結果は。

A 民間の経営ノウハウを活用しながら、効率的な管理運営に努めている。業務評価などの結果でも、施設の設定目的に沿った実施方針に基づき管理運営されている。

Q 火葬場の指定管理者の指定

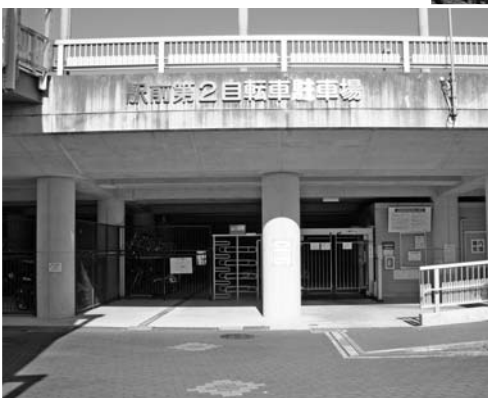
A 火葬場の指定管理は特殊性があると思うが、事業者の独自性を出せるように、条例改正などする考えは。

A 次回の指定管理では指定管理者が独自性を出し、指定管理委託料以外の収益を取り込めるよう検討していきたい。

(農業共済条例の一部改正、社会福祉会館・総合福祉センターの指定管理者の指定についても審査。いずれも全会一致で可決)



総合福祉センター（ゆうあいセンター）



駅前第2自転車駐車場



福井 澄栄議員

Q 広大な町有地に優良企業の誘致を

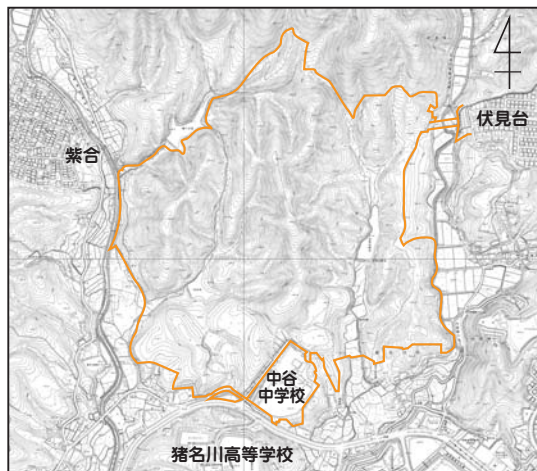
A 多くの課題があり解決策を考えている

日生2次・大林組の開発予定地が町に移管され、平成28年には川西市石道に新名神のインターもできる予定なので、優良企業の誘致を。

地域振興部長 土地利用を図るためには都市計画法などの課題があるが、現在県・本町で検討を進めている。

町長 企業誘致は必要と思っているが、多くの課題があり、解決策を考えている。

道の駅やイベントで宣伝のほりなどが多く、全町公園化構想を掲げている本町として、景観を損



開発が中止となった日生2次開発区域

ねているのではないかと。まちづくり部長 条例に基づいて規制していく。銀山地域は観光地にふさわしい看板などに配慮している。

燃えるごみ収集が週2回しかないため、一回あたりの重量が増え、高齢者が困っている。収集日を増やす考えは。金曜日も燃えるごみの日にして、業者が収集してくれる綺麗なプラスチックのみ同時に回収してはどうか。

生活部長 現体制では燃えるごみの収集回数を増やすことは困難。



歩道が狭く危険な県道（木津）



肥爪 勝幸議員

Q 県道川西篠山線の整備は
A 今後も兵庫県に強く要望する

北田原以北はカーブが多く歩道も狭い。20年前の通学児童死傷事故後も放置されたまま。近年、高齢者の電動カートの利用も増え、危険へのリスクが高い。現状認識と整備計画は。

まちづくり部長 指摘のとおり危険箇所は多い。現在、島内の歩道設置、

烏帽子岩橋整備工事を実施中。万善から木津地内と木間生地内の2カ所の歩道設置工事が計画されている。

整備計画されていた県道下佐曾利笹尾線や島能勢線は中止と聞く。県道川西篠山線の整備と第五次総合計画の整合性の見解は。

まちづくり部長 阪神北地域社会基盤整備プログラムの着実な実行はもとより、検討区間や危険箇所改良を県に要望する。県は「第2次行革プラン」に取り組んでおり、新規事業は極めて厳しい。県に対し、どのような要望・調整をしているのか。

まちづくり部長 町村会、国・県、阪神北県民局などへ機会あるごとに要望している。今後も順次、計画的に進めるため要望する。

Q 文化財保護と観光への取り組みは

A 最大限の災害対策をし情報発信したい



加藤 郁子議員

文化財や歴史的資料を災害から守る対策は。

教育部長 指定文化財管理者に対して、管理意識高揚のための取り組みを行う。また、ふるさと館などに所蔵されている歴史資料に対しても最大限の災害対策を行っている。個人所有の文化財の維持

管理へのフォローは。

教育部長 個人財産として健全な管理を求める。

文化財以外での観光への取り組みは。

地域振興部長 個人・地域の方々の理解と協力のもと、地域の素晴らしい財産を許せる範囲内で情報発信していきたい。

イオン猪名川店北西付近、総合公園前三差路は、自動車の交通量が多く危険。町としての安全対策は。

地域振興部長 公安委員会に信号機設置に向けて協議要望している。

つつじが丘から猪名川中学校まで、自転車通学の安全確保のため、歩道を自転車歩行者道路に指定できないか。

地域振興部長 自転車による歩道での事故が多発していることから、非常に困難であるが公安委員会と協議を進めていく。



町指定天然記念物「大露頭」(銀山)

Q 「市民後見人養成講座」の実施を

A 近隣市との合同開催も含め実施する



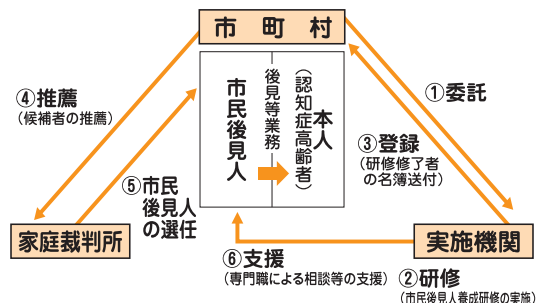
合田 共行議員

市民後見人の育成及び活用

今後、親族等による成年後見の困難な者が増加するものと見込まれ、介護サービス利用契約の支援などを中心に、成年後見の担い手として市民の役割が強まると考えられることから、市町村は、市民後見人を育成し、その活用を図ることによって権利擁護を推進することとする。

※1 「認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱ以上」の高齢者の推計
208万人(平成22年)→323万人(平成37年)
※2 成年後見関係事件の申立件数は年々増加傾向(平成22年 30,079件)
そのうち首長申立の件数 1,876件(平成20年)→2,471件(平成21年)→3,108件(平成22年)

(市民後見人を活用した取組例のイメージ)



厚生労働省資料より

新学習指導要領による授業時間の増や教科の重点など、授業密度が求められることを考えると「土曜日授業」を実施すべきだが。
教育部長 学力の定着を目的とした「土曜日授業」の実施は考えていない。導入を申し入れた「モジユール教育」の実践は。
教育部長 大島・松尾台・白金・つつじが丘小で週3日、15分ずつ国語・算数などを実施している。「英語」授業の拡大を。
教育部長 新学習指導要領に基づき教育課程を、まず実施する。

の困難者が増加傾向にあることが重要だ。「市民後見人養成講座」の実施を。
生活部長 認知症高齢者が増加しており、近隣市との合同開催も含め、最適な方法で実施していきたい。
死因の4位である肺炎は、特に高齢者は、病原性の強い肺炎球菌による発症が多く、他市町で実施のワクチン接種による費用を、一部助成すべき。
生活部長 本町でもすでに小児用肺炎球菌ワクチン接種助成をしており、費用助成の検討を進める。



池上 哲男議員

Q 猪名川大橋付近の河川改修を

A 部分改修も含め引き続き県に要望する

猪名川（本町域）は11本の川が合流し、最下流の猪名川大橋付近が氾濫する。県の改修についての対応は。

まちづくり部長 滝山から杉生一渡橋までの県管理部分で整備計画があるのは、銀橋から多田大橋の間であるが、本町も氾濫危険箇所が多く、引き続き要望をしていく。

平成16年には、河川沿いの竹などのごみで猪名川大橋の下がダムのようになり、原・柏梨田地域が氾濫した。県へ竹林の整備も含む改修要望をすべし。また、町独自ででき



早期改修が望まれる猪名川

る調査と対策の考えは。

まちづくり部長 部分改修も要望している。この度、県において笹尾の古南橋付近に洪水監視用ライブカメラが設置されることとなり、インターネットで水位を映像で見ることができるようになる。

また、町としても浸水エリアマップ作成・河川への水位計設置・情報の周知に努めている。自主防災組織を通じ、防災準備も行っていきたい。

〈その他の質問〉
・子どもたちに自転車運転マナー教育を



公共施設に設置されているAED



安井 和広議員

Jリーグ選手の死亡事故を受けたAEDの必要性の考えは。

消防長 AEDの使用により救命率が向上する。AED配置マップの配布状況は。

消防長 「いっナビ」ながらで公開しており、希望があれば配布する。

Q AEDの無料貸し出し制度の創設を

A 1台貸し出しができる。増設も考慮する

施設閉館時の生涯学習課との調整結果は。

消防長 学校施設は閉館時AEDが緊急必要の場合、窓ガラスを破って持ち出してもよいとの許可を得ている。

AEDのリース契約と、買い取りのそれぞれの金額は。

消防長 買い取り価格は約50万円ぐらい。また、リース契約の場合は、5年リースで買い取り額とほぼ同額である。

安全・安心のために本町にも貸し出し制度の創設を。

消防長 消防本部では、保有するAEDのうち1台を貸し出しできる体制をとっており、希望が増えるようであれば増設も考慮する。

〈その他の質問〉
・観光政策を問う

Q 自然環境の保全と今後の取り組みは

A 環境基本計画に沿って推進する



西谷 八郎治議員

生物多様性の保全と今後の推進体制は。

まちづくり部長 情報発信基地としてのフィールドを整備し、流域に生育・生息する水生生物の保全を図り、水環境を生かしたまちづくりを進める。具体的な施設としては、北プール跡地の活用も



水生生物の調査

視野に入れ事業展開を行う。町は「メダカの里構想」を計画立案中であり、環境学習自然体験ゾーンとしての活動も計画し、その構想実現に向けた取り組みを行っていく。今後の事業展開は、団体の法人化や活動に対する助成・自主財源確保などの体制づくりも検討し、第3次環境基本計画に沿って推進する。

「北摂里山博物館構想」の関わりは。

地域振興部長 北摂地域

一帯を里山博物館として、里山の持続的な保全と地域の活性化を目指す構想であり、町は今ある棚田や施設、里山の資源やスポットなどを活用して阪神北地域での地域間交流・連携を図る施策として、「地域まるごとエコミュニシウム」の取り組みに参画するものである。

Q 北部特別区域での福祉施設の取り組みは

A 民間法人などを誘致し整備に努める



下坊 辰雄議員

生活部長 北部の高齢化の進展に伴い、福祉施設の整備が必要となる。民間法人などを誘致して、高齢者にサービスが提供できるよう努めていく。

六瀬住民センターでも、住民サービスのため、期日前投票所を設けるべきではないか。

総務部長 費用対効果の



六瀬住民センター

北部地域での高齢者の憩いの場所の設置について、平成22年12月議会の一一般質問に、23年度の介護保険事業計画の中で位置づけ、考えたいとのことだったが、その後の対応は。

面、システムの回線やセキュリティなどの技術的問題、選挙事務の職員配置など、慎重に考える必要がある。選挙管理委員会が決定すべき事項であり、今後検討・協議を考えていく。

ライトアップ作戦は22年度終了しているが、白金1丁目は大変暗い。地域住民・自治会と協議し、今後防犯灯の設置を。

地域振興部長 平成19年度に設置した防犯灯設置基準に基づき、照度を満たしているかなど、他の地域も含め判断したい。



下神 實千代議員

Q ISO14001 認証による効果は

A 全体で約5000万円の経費節約

平成14年〜23年7月にISO認証返還までの効果・効率、成果は。また、23年8月からの効果維持、節約、今後の取り組みは。

まちづくり部長 維持経費として定期監査・認証更新審査、研修実施など900万円余りの経費をかけ、効果として、全体で約5千万円の経費節約につながった。今年度8月からは震災の影響もあるが、電力量は前年比18%削減、使用料11・1%減で約50万円の削減。今後の取り組みは、第3次環境基本計画の実現に向



ファミリーサポート利用の手引き

けた環境保護の推進に努める。

ファミリーサポートの利用率は。

生活部長 平成23年10月末で44%である。

利用率の低さの原因は。

生活部長 学童保育終了時間が18時で、一時預かりのニーズが低い。送迎にも時間がかかる。

今後の利用促進・PRは。

生活部長 児童手当の支給時や学童保育、保育園などにチラシを入れていく。今後も機会をとらえ、さらに啓発をしていきたい。



自宅前まで回収に来てくれるふれあい収集

企画部長 平成22年度は、約1億3千万円の経費削減ができた。引き続き、行政改革大綱に基づき、民間活力の導入や参画と協働の推進などで財政改革に取り組んでいく。

税収増につながる方策、企業誘致など、今後の計画は。

町長 本町の財政状況は、県下2位。しかし、さらなる引締めが必要と考えている。歳入を増やすため、企業誘致も含めてどのようにしたら良いか、職員共々考えている。



山田 京子議員

高齢化に伴う独居老人や老々介護世帯の増加に備え、ふれあい収集を、住民により広く浸透させる広報活動は。

生活部長 現在、地域包括支援センター・介護保険事業者・民生児童委員

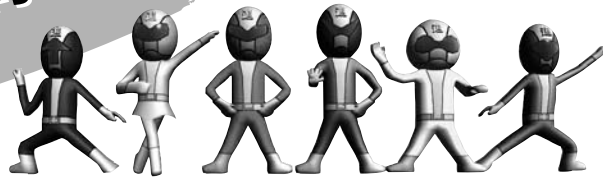
・障害者相談支援センター・社会福祉協議会を通じて、周知を行っている。今後、その他の団体などの協力も得ながら、さらに啓発を行う。

税収が減少するなか、基金に頼ることのない今後の財政運営への取り組みは。

Q 税収増につながる企業誘致などの計画は

A 企業誘致を含め、考えている

いながわ 追跡調査隊 追うレンジャー



過去に行われた一般質問のその後を追跡調査隊「追うレンジャー」が調査しました。第16回のミッションは、次の2つの質問のその後です。

磁気ループ配備、その後の進展は

質問 平成23年3月定例会

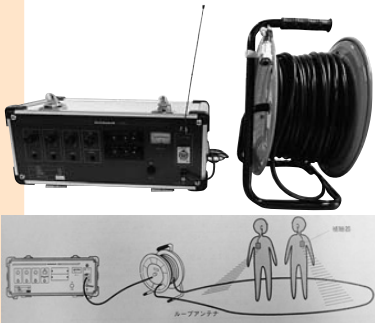
平成20年12月議会で「視聴覚障害者のために磁気ループの設置を」の質問後、図書館に配備されたと聞きましたが、その後の進展は。

答弁 貸し出しを積極的に働きかける

町社会福祉協議会で管理し、町主催の講演会などに貸し出している。今後も施設管理者などへ、積極的に働きかける。

磁気ループの効果を広く啓発し利用を勧める

平成23年度は「ゆうあい福祉のつどい」の際に利用した。今後も「磁気ループ」の特徴である、講演会など集団の中で音が聞き取りやすいという効果を広く啓発し、利用いただけるよう努めていく。



携帯型磁気ループ

携帯電話のリサイクルを推進しては

質問 平成20年9月定例会

携帯電話にはレアメタルが使用されている。レアメタルを無駄にしないためにも、携帯電話の回収を推進してはどうか。

答弁 国の動向を見定めて考える

国の基本方針に対して個々のユーザーがどう意識するか、これらの動向を見定めて対応を考える。

現在

リサイクルについて理解を得るよう啓発する

使用済携帯電話やデジタルカメラなどの電子機器45品目のリサイクル処理については、国及び民間の協議会で回収に努めているが、個人情報の流出防止などの課題があり、今後一層の理解を得るよう啓発していく。

新春を迎え

ごあいさつを申し上げます

猪名川町議会

議長

南 初男

副議長

西谷 八郎治

議員

池上哲男 石井洋二 加藤郁子 久保宗一 合田共行 下神實千代 下坊辰雄 仁部壽夫 肥爪勝幸 福井澄榮 丸山純一 宮東豊一 安井和広 山田京子

(50音順)



消防団による一斉放水

こどもたちの声



鉄棒でやったこと

楊津小学校 四年

飯田 侑司

ぼくは、プールの次に鉄棒が苦手です。体育の時に、練習をしていると三回目くらいに逆上がりができました。その日はとてもうれしくてお母さんにも報告しました。友だちのように、一番高い鉄棒でもできるようになりたいです。

こま

つつじが丘小学校 一年 井田 翔真

せんせいあのね。きょう、こまをみせてくれたよ。まわしかたのコツがわかったよ。「せんこうはなび」ができたよ。またいつか手の上でまわせるようになりたいな。ともだちにおしえられるようになりたいな。



編集後記

昨年は東日本大震災や近畿南部での集中豪雨など、日本各地に甚大な被害をもたらしました。幸い本町は人命に関わるような事態には至りませんでした。が、「想定外」という言葉は捨てて、十分な防災体制を築かなければなりません。

しかし、この災害によって、人と人との新たな「絆」も生まれました。いながわ議会だよりも議会と町民の皆さんとの「絆」が一層深まるようパイプ役としてこれからも研鑽を重ねてまいります。本年もご愛読をお願いいたします。



リサイクル凧で楽しむ子どもたち

